

堺市中区フィールドミュージアム構想

中区ふれあい事業推進委員会

委員長 静 又三

中区域まちづくり考房歴史文化グループ

部会長 ○北野 敏彦

1. 活動方針・目的

行基ゆかりの地であり、陶器（須恵器）発祥の地でもある堺市中区では、歴史文化資源に恵まれながらも、地元住民の間でさえもその認知度は低かった。そこで、中區に眠る歴史文化資源を掘りおこし、内外へPRすることで、自らの地域へ愛着や誇りを持ってもらい、地域力を向上することを目的として活動している。

2. 活動内容

中区域まちづくり考房は、平成16年に「防災」「魅力創出」をテーマに活動を開始した。平成19年からは「生活環境」「歴史文化」をテーマに活動を展開している。

「歴史文化」グループでは、月に1回の定例会議に加え、まちあるきなどフィールドワークを実施し、中區の歴史文化資源をいかに地域住民に伝えるか議論を重ねた。その結果、中區全体を博物館に捉える「中區フィールドミュージアム」として魅力をPRしていくこととなった。

資源発掘のテーマとして、「陶^{すえ}の里」「ため池水系」を選定し、ガイドツアーを開催した。ガイドツアーを開催するにあたり、ツールとしてのガイドブック作成や先進地視察をおこなった。

また、活動の成果発表として、中區内の自治会役員等を対象にフォーラムを開催し、取り組みを他地域にPRした。

3. 他の活動団体の参考となる事例

- ・いわゆる名所、旧跡といった目に見える歴史文化資源が少ない中、地元でずっと住み続けている人が地元を案内することで、失われた事物へと想いをめぐらせ当時の様子を想像できるようなガイドツアーを開催することができた。
- ・地元自治会と連携することで、ピンポイントでガイドしてくれる人を募ることができ、モデルとして開催したガイドツアーが地域行事として定着しつつある。
- ・地元小学校でガイドブックを使った学習をおこなっている。

4. 今後の課題等

- ・他の地域でのガイドツアー開催の支援。
- ・案内人の育成。
- ・子ども向けのガイド内容の検討。
- ・既存ガイドツアーの定着化



中区域まちづくり考房とは

- 堺市中区内にある**13連合自治会**から推薦されたメンバーで中区のまちづくりの課題や魅力について実践的試行をし、その成果を地域に持ち帰り**地域力を高める**ことを目的とした組織です。
- 平成16年10月から活動を開始
現在、「防災」「魅力創出」「生活環境」「**歴史文化**」のテーマでグループごとに活動しています。
- 中区域まちづくり考房の活動
 - ・定例会（月1回）一年間テーマを決定
 - ・グループ協議（随時）
 - ・まちあるき
 - ・区民まつり出店
 - ・各種マップ等の作成 など
 - ・講演会受講
 - ・先進地視察
 - ・フォーラム開催

歴史文化グループの取り組み

- ◆中区には様々な歴史文化資源が眠っている！
- ◆それらを伝えて、地域に誇りと愛着をもってもらおう

中区フィールドミュージアム

- ・地域全体が博物館と捉える
- ・地域資源を展示品に
- ・展示品を地域住民が説明する

「地域資源」
(展示品)

「地域住民」
(案内人)

フィールドミュージアムの着眼点

- ①歴史の勉強会にしない！
⇒まちづくり活動
- ②地域案内人の発掘
⇒地元の人が案内するから実感できる！
- ③まちあるき(ガイドツアー)をしよう
⇒現地でしか体感できないことを発見しましょう！
- ④案内人も一緒に楽しもう！
⇒すべて事前に勉強する必要なし



「ため池水系」ガイドツアー



「陶の里」ガイドツアー



ガイドツアーの成果

意外と地元の人も地元のことを知らない！

⇒地元でのガイドツアー開催

The collage features several photographs of a guided tour. In the top left, a group of people, including a guide in a white shirt and hat, are walking along a path. Below this, another photo shows a group of people standing on a paved area, possibly a park or museum site. To the right, a newspaper clipping is displayed with a yellow banner at the top that reads "ガイドツアーが新聞に掲載されました！！" (Guided tour featured in the newspaper!!). The main headline of the clipping is "「陶の里」めぐり太古思ふ" (Thinking of the Ancient Past While Visiting 'The Land of Ceramics'). The article text is partially visible, mentioning a tour of the 'Land of Ceramics' in Sakai City, led by a guide named Takahashi, and describing the historical significance of the area.

今後の課題・展望

- ★案内人の育成
- ★他地域でのガイドツアー開催の支援
- ★様々な年齢層を対象にしたガイドの工夫



- ◆地元でのガイドツアー一定着化(持続性)
- ◆他地域への広がり(波及効果)
- ◆子ども向けガイドの充実(次代への継承)